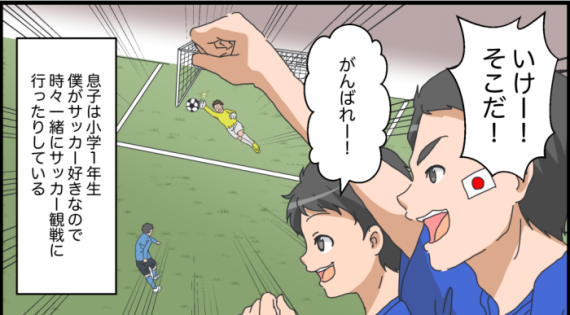




いけー！
そこだ！

がんばれー！

息子は小学1年生
僕がサッカー好きなので
時々一緒にサッカー観戦に
行ったりしている



ある日公園で
息子と遊んでいると

ぼくもお友達と一緒に
サッカーしてみたい！

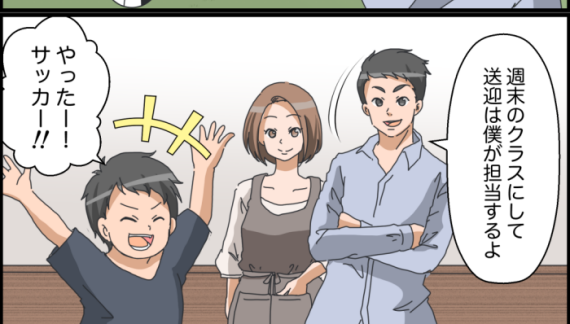


そうか！それなら
サッカー教室の
体験に行ってみようか

うん！行く！



同じ小学校のお友達も
いるし本人もここが
気に入ったみたいだな

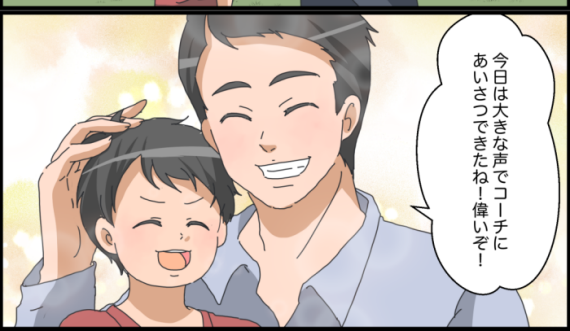


週末のクラスにして
送迎は僕が担当するよ

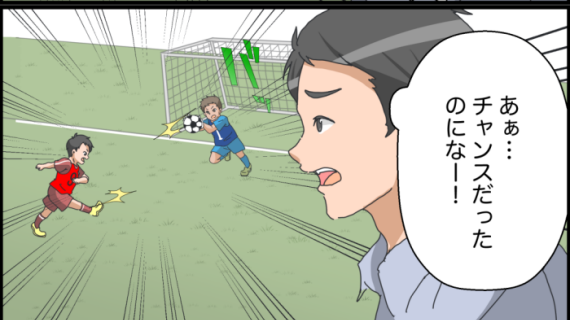
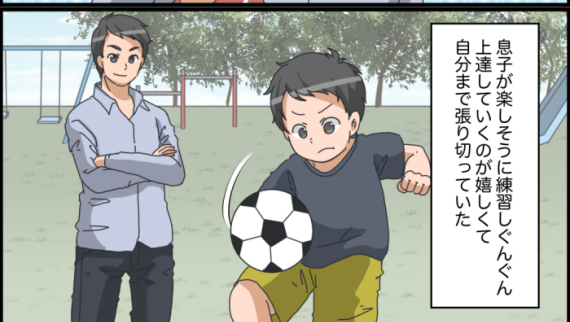
やったー！
サッカー！！

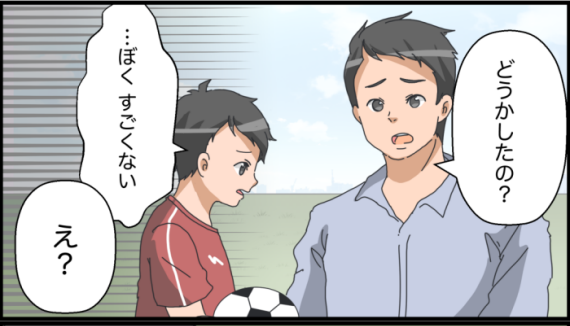


そうたは毎週末
サッカー教室に出かけた



今日は大きな声でコーチに
あいさつできたね！偉いぞ！

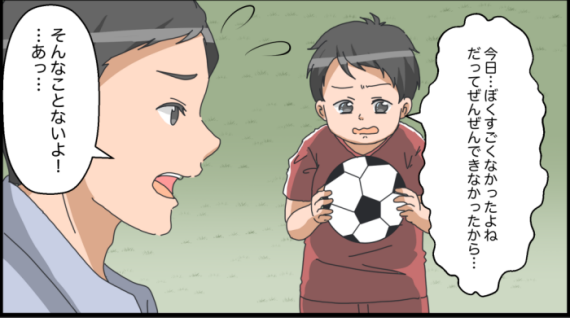




どうかしたの？

…ぼくすごくない

え？



今日…ぼくすごくできなかったよね
だってぜんぜんできなかったから…

そんなことないよ！
…あつ…



始めた直後は
できるようになる度に
「すごいすごい！」
と褒めまくっていた

けれど…



サッカーを始めて半年
多くの「すごいこと」は
「できてあたりまえ」
になった。

そういえば最近「すごい」
よりも「惜しい」「もう少し」
と思いつつながら見るものが
増えたかもしれない
多くを求めすぎだったよな



「成功すること」だけが
すごいのだと思っているとしたら
自分の声かけが原因だ

…パパね新しいことを
覚えるそうたを見ると
嬉しくなつて
つい「すごいね！」って
言つてたけどできないからって
すごくないわけじゃないんだよ

え？



そうたはいっぱい
練習してるから少しずつ
絶対上手になつてる
今はすぐにできないくらい
難しいことにも
挑戦してるよね
これだつてすつごく
すごいことなんだ

…そうなんだ！



好きなことに取り込むこと
継続すること
失敗してもあきらめずに
挑戦すること…

そのどれもすごいこと
なんだと息子にもっと
伝えていこうと思った